

取組内容

[詳細はこちら](#)

「gomi_pit BAR（ごみピットバー）」は武蔵野クリーンセンターをエコツーリズムの軸と捉え、観光客誘致を図る企画として実施されたもので、可燃ごみが集められる「ごみピット」のガラス越しに武蔵野大学水谷俊博研究室製作のカウンターバーを設置して、ごみクレーンを見ながら飲食できる期間限定イベントである。

地元のシェアキッチンMIDOLINO_による環境に配慮した飲食物を用意し、食品ロスへの気づきを促進。

またバーとセットで開催した「大人の工場見学」では、ごみの循環の仕組みを学ぶ機会を提供し、観光分野と環境分野の連携による取組となっている。

武蔵野クリーンセンターでは今後、環境啓発施設「むさしの エコ reゾート（むさしのえこりぞーと）」と「芝生広場」・「どんぐり広場」を2020年秋までに敷地内にオープンする予定であり、観光と環境を融合した新たな都市型ツーリズムを推進することとしている。

評価のポイント

ゴミを見ながら飲食をするというユニークな発想が高く評価された。

首都圏という立地から大きな経済波及効果も見込まれ、今後の展開を期待する声大きい。

ゴミ処理問題を抱える他地域のモデルとなってほしいという願いも込めて奨励賞に選定された。



<gomi_pit BAR>



<提供された飲み物>